

二〇一五年度
早稲田大学演劇博物館
秋季企画展

Who Dance?

振付のアクチュアリティ

2015.10.1 Thu - 2016.1.31 Sun

10:00 - 17:00 (火・金は19:00まで) 入場無料

アオキ裕キ (ソケリッサ)
伊藤キム
伊藤千枝 (珍しいキノコ舞踊団)
ELEVENPLAY
レミ・エリティエ
川村美紀子
アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル (ローザス)
コンタクト・ゴンゾ
近藤良平 (コンドルズ)
さいたまゴールド・シアター×瀬山亜津咲
ボリス・シャルマツ
田中 混
日本女子体育大学
Perfume Global Site Project
ウィリアム・フォーサイス
ジェローム・ベル
ロジェ・ベルナット
室伏 鴻 (Ko&Edge Co.)

早稲田大学演劇博物館



休館日=10/21 (水)、11/6 (金)、11/18 (水)、12/16 (水)、12/23 (祝・水)~2016/1/5 (火)、1/10 (日)~1/12 (火)

主催=早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

後援=在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

協力=あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)、株式会社DHCシアター、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、
国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM)、彩の国さいたま芸術劇場、シンガポール国際芸術祭 (SIFA)、公益財団法人セゾン文化財団、
パリ・オペラ座、フランス国立レンヌ・ブルターニュ振付センター

169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 Tel 03-5286-1829 (平日9:00-17:00) <http://web.waseda.jp/enpaku/>
Facebook <https://www.facebook.com/WasedaU.ENPAKU> twitter @waseda_ENPAKU

Who Dance?

振付のアクチュアリティ

「振付／コレオグラフィ」という概念は、17世紀末にフランスで誕生して以来、変化し続けています。その変化は、同時代の美学やテクノロジーなど私たちの考え方や感性を左右する社会的条件と無縁ではありません。本展では、ダンスの歴史を振り返りつつ、「身体」「空間」「テクノロジー」という3つの観点から21世紀以降のコンテンポラリーダンスの実践に焦点を当て、私たちの生きる現代に特有の「振付／コレオグラフィ」とは何かを考えます。

第1部：踊る身体の多様化 ― 誰が踊る？

アオキ裕キ (ソケリッサ)
川村美紀子
さいたまゴールド・シアター × 瀬山亜津咲
ボリス・シャルマツ
ジェローム・ベル
室伏鴻 (Ko&Edge Co.)

第2部：踊り場の生成 ― どこで踊る？

伊藤キム
伊藤千枝 (珍しいキノコ舞踊団)
レミ・エリティエ
近藤良平 (コンドルズ)
田中泯
ウィリアム・フォーサイス
ロジェ・ベルナット

第3部：遍在するダンス ― 誰もが踊る？

ELEVENPLAY
アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル (ローザス)
コンタクト・ゴンゾ
Perfume Global Site Project
ウィリアム・フォーサイス × 日本女子体育大学
フラッシュモブ 他

映像作品上映コーナー

ダンスの公演記録映像やダンスを題材とした長編の映像作品を紹介します。プログラムは後日発表します。
サシャ・ヴァルツ、レミ・エリティエ、ボリス・シャルマツ、田中泯、ジェローム・ベル、室伏鴻、伊藤キム 他

コンタクト・ゴンゾ ― 企画展関連展示 ―

「訓練されていない素人のための振付コンセプト001」

文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

コンタクト・ゴンゾによる本展のために構成されたプロジェクト。「訓練されていない素人のための振付コンセプト001」のスコア (指示書) をもとに、世界中のダンサーが再演を試みます。



ボリス・シャルマツ
『子供』2011年 パリ市立劇場
写真提供：フランス国立レナヌ・ブルターニュ振付センター ©Marc Domage



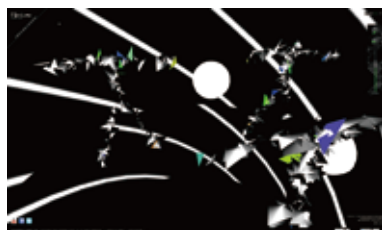
ジェローム・ベル
『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』2011年 彩の国さいたま芸術劇場
写真：池上直哉



近藤良平 (コンドルズ)
『にゅ〜盆踊り』2014年 池袋西口公園 写真：涌井直志



ロジェ・ベルナット
『春の祭典』2010年 Teatro El Milagro (メキシコシティ) 写真：Blenda



『Perfume Global Site Project』
2012年 ©AMUSE Inc. + UNIVERSAL MUSIC LLC + Rhizomatiks co., Ltd.



ウィリアム・フォーサイス × 日本女子体育大学
『Bongo Bongo, 9 phases』2012年 写真提供：株式会社DHCシアター
写真：神山啓介

同時開催企画

○ジェローム・ベルによるレクチャー・パフォーマンス
「ある観客 / Un spectateur」

日時：2015年2月12日 (木)
出演：ジェローム・ベル (ダンサー・振付家・演出家)

文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
○池田扶美代によるダンス・ワークショップ
「Re:Rosas !」

日時：2015年7月24 (金) ~ 26日 (日)
講師：池田扶美代 (Rosas)

○日仏ダンス会議

「思考と身体のパ・ド・ドゥ」

登壇：ジュリー・ペラン (パリ第八大学准教授)、
バトリック・ドゥ・ヴォス (東京大学教授) 他
日時：2016年1月16日 (土) * 要事前予約・参加費無料
場所：大隈記念講堂小講堂

文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

○連続パフォーマンス講座

ダンサーや振付家を招いて、作品公演・トークを開催します。

第1回 田中泯「場踊り」

1970年代から国内外で踊り、世界的に高く評価されてきた舞踊家・田中泯。自身の生き方や踊りへの原初的な衝動に深く結びついた『場踊り』は、千変万化する状況を身体で受け止め、即興的に繰り上げられます。

出演：田中泯 (舞踊家)
アフタートーク：
田中泯 × 中沢新一 (思想家・人類学者・明治大学特任教授)
日時：2015年10月10日 (土) 17:00 ~ 20:00
定員：公演40名、トーク200名 * 要事前予約・参加費無料
場所：演劇博物館 (公演)、早稲田大学小野記念講堂 (トーク)
*タイムスケジュールはHPでご確認ください

第2回 コンタクト・ゴンゾ

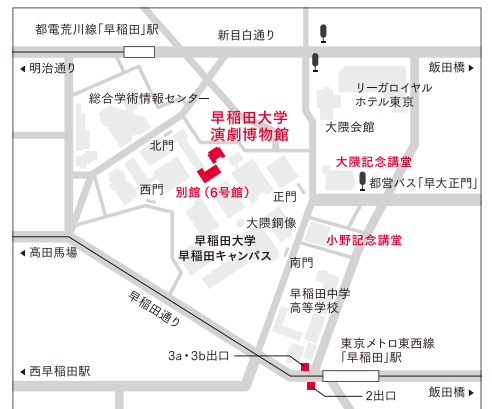
「訓練されていない素人のための振付コンセプト001/002」
本展展示中の「訓練されていない素人のための振付コンセプト001/重さと動きについての習作」の再演および、続編である最新作「訓練されていない素人のための振付コンセプト002/速度と動きについての習作」を上演します。

出演・演出：コンタクト・ゴンゾ
アフタートーク：
コンタクト・ゴンゾ × 国枝かつら (丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員)
日時：2015年11月20日 (金) 18:30 ~ 20:30
場所：早稲田大学小野記念講堂
定員：200名 * 要事前予約・参加費無料

第3回 ロジェ・ベルナット「春の祭典」

スペインの演出家・ロジェ・ベルナットが舞踊史の金字塔『春の祭典』に挑みます。1975年のビナ・バウシュ版を大胆に翻案した本作の振付を通じて、観客は共同体をめぐる問いに身体と共に向き合うことになるでしょう。
構成・演出：ロジェ・ベルナット (振付家・演出家)
日時：12月12日 (土) * 要事前予約・参加費無料
場所：未定

●申込み方法：演劇博物館HPよりお申し込み下さい。
*今回はインターネットからのお申込みのみとなります。



○アクセス 東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩7分／都電荒川線「早稲田」駅から徒歩5分／JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅 (早稲田口) から、都営バス「早大正門行」終点下車、徒歩2分

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

Tel 03-5286-1829 (平日9:00-17:00)
http://web.waseda.jp/enpaku/
Facebook https://www.facebook.com/WasedaU.ENPAKU
twitter @waseda_ENPAKU

